令和2年度 第2回 八尾市入札等監視委員会議事録	
開催日時	令和2年11月19日(木) 午後1時53分から2時46分
開催場所	八尾市役所 本館4階 入札室
出席委員	3名(全員出席)
事務局	総務部：原田部長、契約検査課：石元課長、小西課長補佐、多田課長補佐、 鵜飼係長、吉井主査
議 題	<p>I. 抽出工事の審議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発注案件名称：令和2年度飛行場南排水区第101工区下水道改築工事 入札方式：条件付一般競争入札 開札日：令和2年7月17日 受注者：株式会社田中建興 契約金額：81,857,600円 ・発注案件名称：令和2年度恩智川東排水区第103工区下水道工事 入札方式：条件付一般競争入札 開札日：令和2年7月17日 受注者：株式会社クラタ土木建設 契約金額：75,757,000円 ・発注案件名称：令和2年度恩智川東排水区第2工区下水道工事 入札方式：条件付一般競争入札 開札日：令和2年7月17日 受注者：株式会社東海 契約金額：69,316,500円
	<p>II. 発注工事の入札・契約手続の運用状況</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和2年度入札・契約実績 2. 平均落札率一覧表(平成28年度～令和2年度)他 3. 令和2年度入札参加停止状況 4. 平成28年度～令和2年度談合情報 5. 令和2年度入札中止・契約解除案件等について
	<p>III. その他</p>
委員会による意見の 具申又は勧告の内容	なし

委員からの主な意見・質問、それらに対する回答等

【 I. 抽出工事の審議 】

(委員) 元請実績の期間は、どれくらい見ているのか。

(事務局) 15年間の実績で参加可能としている。

(委員) 今回の入札参加者は15年前から実績があるということか。

(事務局) 令和2年から遡って15年前までに実績があるか否かを見ている。平成17年から15年間に工事の実績が1件でもあれば参加資格がある。

(委員) 実績金額が1と2は5000万円以上で、3は4000万円以上だが、これは発注金額の違いか。

(事務局) その通り。

(委員) 推進の登録業者数は何者あるのか。

(事務局) 中大口径管は30者、小口径管は4者ある。

(委員) 中大口径管の業者は小口径管も取れるのか。

(事務局) 取れる。今回は小口径管なので小口径管推進可能業者でも取れる。発注の中に中大口径管が入っていれば小口径管は除くことになる。小口径管だけに登録されている業者は参加できないことになる。

中大口径管との差別化は管径800mmであり、管径800mmを超えると人が管の中に入って測量しながら作業をするので、安全管理上も技術力が必要になる。

(事務局) 今回の抽出3件については7000万円～8000万円という幅の狭いものになっており、上位3件となると条件が並んでしまったが、八尾市は指名競争入札も行っているので、今後は抽出案件の幅を広げて審議いただこうと考えている。

(委員) 良いことだと思う。そのように審議していく。

【 II. 発注工事の入札・契約手続の運用状況 】

1. 令和2年度入札・契約実績

(委員) 資料P4の「地域貢献精通型指名競争入札」とはどんな入札方式なのか。

(事務局) 八尾市内の中学校区でエリアを決めて、地域に密着した業者を指名登録する際に1つの評価項目としてカウントして、災害時の協定を結んでいるか否かを評価基準としている。また、緊急時にも重機を持ち合わせているか等、発注地域にある業者に加点される設定である。八尾市独自の指名競争入札で、電子入札化の後に制度としたものである。災害時に対応できる業者を育成、存続させる制度であり、地域性と平等発注が重要であるので、年間、15校区全てに発注を目指している。現実的には完全に均等にはなっていないが、エリアを東西南北に分割しながら、極力均等に分散発注をする制度である。

(委員) 地域性と防災協定を結んでいる等で業者を評価するもので、地元であれば業者もコスト的に有利な制度であると理解する。

2. 平均落札率一覧表（平成28年度～令和2年度）他

3. 令和2年度入札参加停止状況

4. 平成28年度～令和2年度談合情報

5. 令和2年度入札中止・契約解除案件等について

(委員) 旧竹湊コミセンの解体工事の入札は落札されたのか。

(事務局) 再入札の結果、落札された。去年から不調を繰り返していたが、ようやく落札された。

(委員) 不調の原因は何が考えられるのか。

(事務局) 建物が近接している中での解体で、施工状況が悪いことや、市は国の基準に基づき積算するため価格が合う合わないがあり、周りを損傷させる可能性があるため、嫌われたのではないかと考えられる。

(委員) 解体工事なので防音、防塵対策をしなければならず、重機を入れるにも道が狭くやりにくい。しかし積算には反映されない。理解はできるが、無事に落札され良かったと思う。

Ⅲ. その他

(事務局) 前回の委員会議事録案に修正はあるか。

(委員) ない。

(事務局) 議事録をホームページに公表していく。

以上